

函 教 文

令和5年(2023年)8月25日

総務常任委員会委員 各位

教育委員会生涯学習部長

参考資料の配付について

このことについて、下記資料を別添のとおり配付いたします。

記

- 1 縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の北海道への要望について

(文化財課 21-3465)

## 縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の北海道への要望について

このことについて、下記のとおり函館市と経済団体等の連名で北海道知事へ要望を行ったので、お知らせいたします。

### 記

1 日時

令和5年(2023年)8月22日(火) 10時30分

2 経済団体等

函館商工会議所, 道南縄文文化推進協議会

3 応対者

鈴木直道 北海道知事

加納孝之 環境生活部長 塚田みゆき 文化局長

4 要望書の内容

別添のとおり

5 内容

函館市長から鈴木知事に対し、要望書を手交し、「函館市に縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設を設置」の要望をした。

鈴木知事からは「本年3月に拠点機能のあり方を取りまとめたところであり、これまで構成資産を有する市町などからご意見をうかがってきたが、今日の要望を契機にさらに検討を加速させていければと思う」とのコメントがあった。

### 【参考】本件に係る北海道への要望活動について

令和4年9月26日 経済団体等による要望

(市は平井副市長が同行、要望書には連名せず)

令和5年7月25日 市・市議会による合同要望

令和5年8月22日

北海道知事 鈴木 直道 様

令和6年度縄文世界遺産活用に向けた  
拠点施設の設置に関する

# 要 望 書



〈活気にあふれ、いつまでも住み続けられるまちをめざしています〉

函 館 市  
函 館 商 工 会 議 所  
道南縄文文化推進協議会

平素、函館市発展のため格別のご理解とご尽力を賜り、厚く  
お礼申し上げます。

このたび要望いたします**縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の  
設置**につきましては、縄文世界遺産を世界に発信するとともに、各  
構成資産の連携を図るうえで極めて重要でありますので、特段のご  
配慮を賜りますようお願い申し上げます。

函 館 市 長 大 泉 潤

函 館 商 工 会 議 所 会 頭 久 保 俊 幸

道南縄文文化推進協議会長 境 勝 則

## 縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設置について

北海道は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の17構成資産のうち6構成資産を有しており、縄文世界遺産の活用に向けて、情報発信と各構成資産の連携を図るための中核となる施設が必要であります。

現在、北海道において設置を検討している、総合調整や保全、普及、交流の機能を担う拠点施設につきましては、史跡垣ノ島遺跡と史跡大船遺跡の2つの構成資産を有し、交通ネットワークが充実し、「北海道の玄関口」として北東北や道内の構成資産を周遊する起点となる函館市が設置個所として最適であると考えております。

縄文世界遺産の活用を通じて、自然環境や文化多様性の保護に対する意識の向上と地域の活性化を図るため、函館市への拠点施設の設置について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

区 分	要 望 事 項
縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設置	○北海道における縄文世界遺産活用に向けた拠点施設を函館市に設置